

科目名 Course Name	子どもの健康と安全 Child health and safety				ナンバリング No.	K2-008	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡先(質問等)	講義棟 1F 非常勤講師室						
必修/選択	必修						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもを取り巻く環境が様変わりしている中で、多様な背景をもつ子どもたちの置かれている状況を十分に把握し、子どもとその家族に必要な保健的対応ができるように、基本的な知識の修得と実践力を身につける。</p> <p>①子どもの健康を守るために必要な保育環境について具体的に説明することができるようにする。 ②子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康と安全について説明することができるようにする。 ③子どもの事故の発生や緊急を要する状況への適切な対処の方法を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	保健関連の最新情報や事例紹介を含めた講義と演習により進める。テキスト、プリント資料、映像機器を活用する。健康教育の教材として『ほけんだより』を作成し提出することを課題とする。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①保健的観点を踏まえた保育環境について説明することができる。 ②子ども一人ひとりの健康を守るために、集団全体の健康についても考えることができるようになる。 ③子どもの体調不良時において、適切な対処の方法を身につけることができる。 ④事故の発生、緊急を要する状況において、適切な対応ができる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	定期試験を実施し、試験結果をフィードバックする。課題レポート、演習レポートの提出。						
教科書/参考図書	教科書:「子どもの健康と安全」学建書院 母子健康手帳 参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示。必要に応じてプリント資料配布。						
履修上の留意点やルール等	テキスト、プリント資料等の教材を必ず準備して授業に臨む。 事前・事後学習に費やす時間は、およそ 180 分を目安とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を必ず準備し、積極的に質問する。			10	
レポート/作品	出題者の意図した内容に沿って課題の要件を満たしている。 作品には、様々な思考や工夫点がみられる。			40	
発表					
小テスト					
試験	設問内容の要件を満たし、授業内容が正確に表現されている。			50	
その他					
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って概要説明、学習への取り組み等)
	事前・事後学習	保育所保育指針解説概観
2	授業内容	保健的観点を踏まえた保育環境—子どもの健康と保育環境
	事前・事後学習	保育施設の法的根拠
3	授業内容	衛生管理①—施設内・施設外の衛生管理
	事前・事後学習	消毒液の種類と用途
4	授業内容	衛生管理②—職員の衛生管理
	事前・事後学習	「世界手洗いの日」 正しい手洗いの方法
5	授業内容	保育者自身の健康管理
	事前・事後学習	ユニセフの衛生活動
6	授業内容	事故防止および安全対策—子どもの事故の現状 事故の特徴および事故防止
	事前・事後学習	事件事例(ヒヤリハット・死亡例)
7	授業内容	体調不良時の適切な対応—発熱、咳、嘔吐 その他の対応 薬の使い方
	事前・事後学習	病院の受診 子どもの薬
8	授業内容	緊急を要する状況への対処方法①—気道異物、意識障害、アナフィラキシー 他
	事前・事後学習	応急手当
9	授業内容	緊急を要する状況への対処方法②—エピペンの使い方(演習)
	事前・事後学習	アレルギー反応と免疫のしくみ
10	授業内容	感染症対策①—感染症対策の基本 予防接種
	事前・事後学習	感染症対策ガイドライン
11	授業内容	感染症対策②—感染症発生時の対策および罹患後の対応
	事前・事後学習	子どもに多い感染症と主な症状
12	授業内容	保育における保健的対応①—3歳未満児への対応
	事前・事後学習	SIDS対策
13	授業内容	保育における保健的対応②—個別的な配慮を要する子どもへの対応
	事前・事後学習	疾病の支援体制
14	授業内容	健康および安全管理の実施体制—保健計画 他職種との連携
	事前・事後学習	「ほけんだより」の作成
15	授業内容	授業のまとめ
	事前・事後学習	重要ポイントのふり返り